

(仮称) 地域創生に向けた高校魅力化の手引 (骨子案)

I 手引の作成について

1 作成の趣旨

人口減少・少子高齢化が急激に進む中、各地域では、それぞれの特色を生かした自律的で持続的な社会を創生することが重要。こうした中、教育は地域社会を動かしていくエンジンの役割を担っており、地域創生において高等学校への期待は大きい。

こうしたことから、道教委では、北海道総合教育大綱や第2期北海道創生総合戦略を踏まえ、地域創生の観点から、本道における高等学校の魅力化の具体的な取組等を記載した手引を作成。

2 本手引の対象

道立高等学校及び道立中等教育学校（後期課程）

II 地域創生に向けた高校の魅力化の基本的な考え方

1 地域創生をめぐる現状と課題

- ・人口減少と少子高齢化
- ・人口の都市部への人口流出
- ・生産年齢人口（15～64歳）の減少による地域経済の停滞 など

2 子どもたちの教育環境を取り巻く現状と課題

- ・中学校卒業生数の減少、高等学校の小規模校化
- ・学校が抱える課題の複雑化・困難化
- ・情報化やグローバル化の進展 など

3 学校と地域の連携・協働の必要性

上記1及び2の課題を解決するためには、学校と地域が連携・協働して高校の魅力化を図ることが重要。

4 地域創生に向けた高校の魅力化に対する基本的な考え方

学校や地域、生徒の実態を踏まえ、社会の変化や生徒の多様な学習ニーズに対応した教育活動を展開することにより、生徒の自己実現に寄与することができる高校づくりを推進し、地域から選ばれる学校になること。

III 学校と地域の連携・協働の在り方

1 目指すべき姿

- ・地域でどのような子どもたちを育てるのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子どもたちを育てる「地域とともにある学校」への転換
- ・地域の一部の人々だけが参画するのではなく、地域全体で子どもたちの学びを支えていくことが必要であり、子どもとの関わりの中で、大人も共に学び合う体制の構築
- ・学校を核とした連携・協働の取組を通じて、子どもたちに地域への愛着や誇りを育むとともに、自立した地域社会の基盤の構築を図る「学校を核とした地域づくり」の推進 など

2 推進体制の構築

- ・地域と高校との連携・協働に資することを目的に、自治体や関係機関・団体等で構成する連携組織（コンソーシアム）の設置
- ・学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となるコミュニティ・スクールの導入
- ・地域における学校との連絡窓口や住民・保護者間の調整役となって協働活動を推進するコーディネーターの導入 など

IV 高校の魅力化に関する具体的な取組

1 学校の状況や課題、地域の要望等の把握

2 多様な進路を実現するための学びの保障

- 生徒の興味・関心や多様な進路に応じた教育課程等の編成・実施等
 - ・多様な選択科目を開設するなど生徒の学習ニーズに対応した教育課程の編成
 - ・習熟度別授業・少人数授業等のきめ細かな指導の充実
 - ・地域の人材を活用した専門性の高い特色ある教科・科目等の開設
- 小・中・高等学校等の学びの接続
 - ・国語・数学（算数）・英語などの地域における学びのスタンダードの作成
 - ・小・中・高等学校の教員が連携した基礎学力の定着に向けた取組の実施
 - ・高大接続の取組の推進
- 課外における学習機会の確保
 - ・課外における学習時間の確保
 - ・地域人材等の活用による中学生・高校生向けの課外講座等の実施
- 地域と連携した部活動の実施
 - ・地域人材等を活用した部活動の実施
 - ・中学校と高等学校が連携した部活動の実施
 - ・地域の特性を踏まえ、近隣の高等学校が連携した部活動の実施
 - ・社会教育の一環としての部活動の実施 など

3 地域を学びの場とした教育活動の推進

- 地域課題解決型の学習活動の推進
 - ・地域創生やSDGsの観点からの探究活動の実施
 - ・総合的な探究の時間と小・中学校の総合的な学習の時間等との学びの接続
- 地域の企業等と連携した職業教育の充実
 - ・地域人材を活用したキャリア教育の推進
 - ・デュアルシステム等による職業教育の充実
- 地域の人材等の活用や異年齢集団での活動の推進
 - ・地域の専門家を「ふるさと先生」として活用する取組
 - ・地域や小・中学校と連携したキャリア教育や奉仕活動等の実施
- 地域の特性や学びの場の確保
 - ・地域の自然環境や観光資源を活用した学びの構築
 - ・地域の博物館等の教育施設の活用や地域の教育セミナー等への参加
 - ・生徒と地域の方々が学ぶ講座等の実施
- 道外からの入学者や地方留学の受入れ など

4 教育環境の整備

- ・ICT環境等の整備
- ・小規模校の教育課程の充実を図るための遠隔システムの導入の促進

5 高校の魅力化に関する情報発信及び検証・改善